

令和6年度 第1回湯河原町新庁舎整備検討委員会 会議録

日時：令和7年3月17日（月）

午後3時30分～午後5時00分

場所：役場第1庁舎3階議会協議会室

〔出席者〕

新庁舎整備検討委員会委員	梶田佳孝、鈴木研一、杉山修、高橋則吉、布施谷日出一、川口勝文、 深澤里奈子、二見朋香、秋山秀明、佐藤さやか (欠席) 室伏学、石田浩二
町（事務局）	二見参事兼総務課長、吉野検査担当課長、力石係長、北村主任主事

〔内 容〕

1 開 会

定刻前ですが、出席を予定されている皆様お揃いですので、ただいまから「令和6年度第1回湯河原町新庁舎整備検討委員会」を始めさせていただきます。

本日はお忙しい中ご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。

私、総務グループの参事をしております二見と申します。本日はよろしくお願いいたします。

本来であれば各委員お一人ずつに委嘱状を交付させていただくところですが、時間に限りがございますので、机上での配布とさせていただきますことをご了承いただければと思います。

また本日第1回目の会議ということでございますので、委員長が選出されるまでの間、次第に基づきまして私のほうで進行させていただきますので、よろしくお願い致します。

本検討委員会につきましては、役場の新庁舎の整備にかかる基本構想、基本計画を策定するほか、新庁舎の整備について必要な事項について検討していただく委員会となるものでございます。

2 町長あいさつ

皆さんこんにちは。

町長内藤でございます。

日頃から町政運営に色々と携わっていただいている方もおられますけれども、この場をお借りしまして御礼を申し上げます。ありがとうございます。

新庁舎の建設にあたりまして、役場のほうではアンケートを実施致しました。

今日の次第にもありますけれども、それについては各地区を回りまして、説明会を担

当のほうで開いたところでございます。

正直に申しまして、手持ちの資料はそれしかない、まったく白紙の状態からのスタートになってまいります。

令和7年度、8年度、2か年にかけて、基本構想を策定してまいりたいと考えております。

その際、皆様のお立場で、幅広い知見の中で意見を出していただけたらと存じます。

決してこの場だけでこう決まったとなるわけではありませんが、基本構想にはその辺をかなり加味してまいりたいと考えてございます。

2年間と長丁場の仕事になろうかと思えます。基本構想が終わったあと基本設計、実施設計と、順々に段階を追っていきますが、最終的に出来上がるまで10年計画と、そのぐらいになるものと思えます。長くお付き合いしていただければと思えます。

よろしくお願い致します。

3 委員紹介

事務局より委員及び事務局員を紹介

4 役員選出（委員長及び副委員長の選出）

湯河原町新庁舎整備検討委員会設置要綱第5条第2項の規定に基づき互選により委員長・副委員長を選出

委員長 梶田 佳孝

副委員長 鈴木 研一

（委員長あいさつ）

委員長に推挙いただきました東海大学の梶田でございます。

学識ということでございますので、その中でやらせていただければと思えます。

庁舎はかなり老朽化されているということで、庁舎はまちにとって非常に重要な施設だということもありますし、災害への対応もしていけないといけないということもあります。

また、住民の方々が集まるような色々な機能も必要かと思えますので、今回は基本構想ということでございますが、そういった色々な機能を、将来に向けての庁舎をどのように整備していくかということを、皆様方の忌憚のないご意見の中でまとめてまいりたいと思えますので、よろしくお願い致します。

…他の公務により町長退席

5 議題

【委員長】

これから委員会の進行をさせていただきます。

皆さまよろしくお願いいたします。

まずはご覧のとおり、委員 12 名のうち、過半数以上が出席されていることから、要綱第 6 条第 2 項の規定により、委員会が成立していることをご報告させていただきます。

また、議題に先立ちまして、本委員会における資料及び議事録につきましては、原則公開としたいと思いますが、皆さんのご意見を伺いたいと思います。

いかがでしょうか。

【委員】

異議なし。

【委員長】

ありがとうございます。

では事務局で後日、会議資料及び会議録の公開をお願いします。

(1) 報告事項

ア 庁舎のあり方に向けたこれまでの経過について

【事務局】

…資料No. 1 に基づき説明。

【委員長】

説明が終わりました。「庁舎のあり方に向けたこれまでの経過について」につきまして、ご意見・ご質問がございましたら、お願いいたします。

よろしければ、報告事項、イに移りたいと思います。

イ 「湯河原町庁舎のあり方検討基礎調査」について

【事務局】

…資料No. 2-1・No. 2-2・No. 2-3 に基づき説明。

【委員長】

説明が終わりました。「湯河原町庁舎のあり方検討基礎調査」につきまして、ご意見・

ご質問がございましたら、お願いいたします。

【委 員】

複合化することの検討はどうか。

【事務局】

複合化は考えていない資料になる。基本構想の検討の中で進めることになる。

【委 員】

p 12 にあるように、歴史的に珍しいものになるのではないか。

【事務局】

船をイメージして作られたと聞いている。

【委 員】

4,000 平米の基準となるのは人口と職員数だと思うが、何年を見据えたものか。

【事務局】

令和 4 年 4 月 1 日現在の本庁舎に勤務する職員数で試算している。

【委 員】

概要版 p 2 に人口があるが、これの何年ぐらいの職員数をみているのか。

【事務局】

平成 4 年時点の職員数で計算している。基本構想の検討ではその辺も加味することになる。

【事務局】

この資料は、p 1 にあるように評価の出発点になるよう、町にある情報で検討したもので、人口、職員数、公共交通等を加味していないものになる。候補地も役場の土地のみで、基礎の基になる。町長からもまだ何も決まっていない、白紙だと話があった。

皆様にこれまでの検討経過の共通認識をもっていただくものになっている。これから詳細な構想、計画を作るのに皆様のお力をお借りすることになる。

【委 員】

当時も安全性や中心性をもとに検討していたことがわかる。これらの視点も踏まえて

検討していくことになる。

【委員長】

他にいかがでしょうか。よろしければ、報告事項、ウに移りたいと思います。

ウ 「湯河原町役場庁舎のあり方に関するアンケート調査結果」について

【事務局】

…資料No.3-1・No.3-2に基づき説明。

【委員】

アンケート回答者は高齢者が多い。人口構成と似ている感じではある。

p11をみるとアクセス性のよい、自宅から行きやすいことの継続、それからトイレやバリアフリーなどの改善という意見が見える。

年に1～3回の来庁で、多くは来庁しない。DX化で将来的にもあまり来庁しないだろうが、複合的な機能は検討の必要があると感じた。

【委員】

アンケート回答者は70代の人が多い。

これから活躍する人が少ない。

郵送調査だからこうなった。

インターネットでやると幅広く、数も増えて、信ぴょう性が高まるのではないか。

【委員】

小学校ならマチコミ、保育園はコドモンというアプリを使っている。

皆その情報は見るので、これを使ったアンケートを検討してはどうか。

【事務局】

今回は対象者を抽出して実施した。

男女、年代、地区などの割合が均等になるように実施した。

もう一度アンケートをとることは考えていないが、地区の説明会やパブリックコメントは実施する予定。

ホームページからアクセスできたり、アプリから情報提供するようなことは考えたい。

【委員】

具体的なものは検討しながらになると思うが、中学校の建て替え時に鍛冶屋の奥地の

財産を売った経緯がある。今はそういうものはない。

介護課、福祉課などは狭くて、これでよいのかと感ずることがある。

基本的に役場に防災拠点ができるので、防災コミュニティセンターのことも考える必要があるのではないか。

【委 員】

老人会の立場で2点ある。

1つは免許証返納後の公共交通のあり方。もう1つは庁舎に来る回数が少ないのは今の設備だから。もっとよくなれば回数は増えてくると考える。

【事務局】

建て替え場所は今の場所が人気があって、次が駅になっていて、公共交通が整っているところが望まれている。

今後、バス路線の廃止なども出てくる。庁舎が狭いとの意見もあった。

一方、職員のやることは増えている。

華美にならず、お金をかけないことも、防災や図書館のこともある。

これから2年かけて皆さんと基本構想を考えていきたいので、よろしく願いたい。

【委 員】

庁舎、図書館、学校と建物が大きく動いていく10年だと思っている。

他の課とどんな連携をして、どんな方向性でいくのか、この場にも情報を共有してほしい。

【事務局】

小中学校の耐震化、保育園の耐震化、今は地域会館の整備をしている。

そこでいよいよ庁舎をやろうということになった。

人口減少や図書館が古いということも含め、町全体のデザインとして考えていくことになる。

この会議は外部の方の意見をいただく会議、内部の会議では各課の意見を聞いていく。都度都度皆様にも情報提供していく。

【委 員】

アンケートの中に皆さんの要望がたくさんあった。

職員が快適に仕事のできる環境もそうだし、船の形のシンボルも、財政のことを考えてとなるが、離職率が止まるようにしてほしい。

防災コミュニティセンターなどと連携しながら、協議が進められたらよい。

【委員長】

他にいかがでしょうか。

よろしければ、それでは報告事項については、以上となります。

(2) 審議事項

ア 基本構想策定スケジュール（案）

【事務局】

…資料No.4に基づき説明。

【委 員】

この委員会は仕様の確認、業者の選定に関わるのか。

【事務局】

選考委員に委員長、副委員長に入ってもらう予定。

役場は契約にあたって入札が必要になるが、入札だと金額が安いところとの契約になる。

プロポーザルは価格だけでは比較できないものに適した方法になる。

そのため、現在のスケジュール案になっている。この会で仕様の確認はするが、その次は選定結果の共有になり、それ以降の動きは、現在はお示しできない状態。

仕様項目の1～9は、もう少し詳しくお示しする予定なので、5月の際にご意見をいただきたい。

【委 員】

大手ゼネコンは過去に手掛けたものには参入してくる。今の建物は大手ゼネコンが建てたものか。

建て替える場合のために参考までに教えてほしい。

【事務局】

現時点で建て替えるか、耐震診断をして耐震工事をして長生きさせるのかも未検討で、そこまで含めた基本構想になる。

第1庁舎、第2庁舎も耐震診断をしておらず、かなり古いので建て替えが必要になるだろうと推測はしているが、そこまで詳しく決めているわけではない。

【委 員】

今回はまず基本構想、最終的に建て替える場合は躯体の話、実施設計に入っていくこ

とになるのでよろしくをお願いしたい。

委員会としては5月と8月がわかっているが、あとは進捗状況に応じて入ってくると
ということなので、よろしくをお願いしたい。

【委員長】

他にいかがでしょうか。

それでは議題については、以上となります。

6 その他

【委員長】

その他ですが、委員の皆さま何かございますでしょうか。

特になし

7 閉会

【委員長】

以上をもちまして、第1回湯河原町新庁舎整備検討委員会を閉会いたします。
長時間ご協力ありがとうございました。

以上